

飯南町の保育所のあり方に 関する意見を聞く会

令和8年度8月 | 飯南町 住民課 こども未来推進室

本日の予定

1 9 : 0 0 挨拶

1 9 : 1 0 提言書について説明

1 9 : 3 0 質疑応答

2 0 : 3 0 終了予定

本日の目的と内容

【本日の目的】

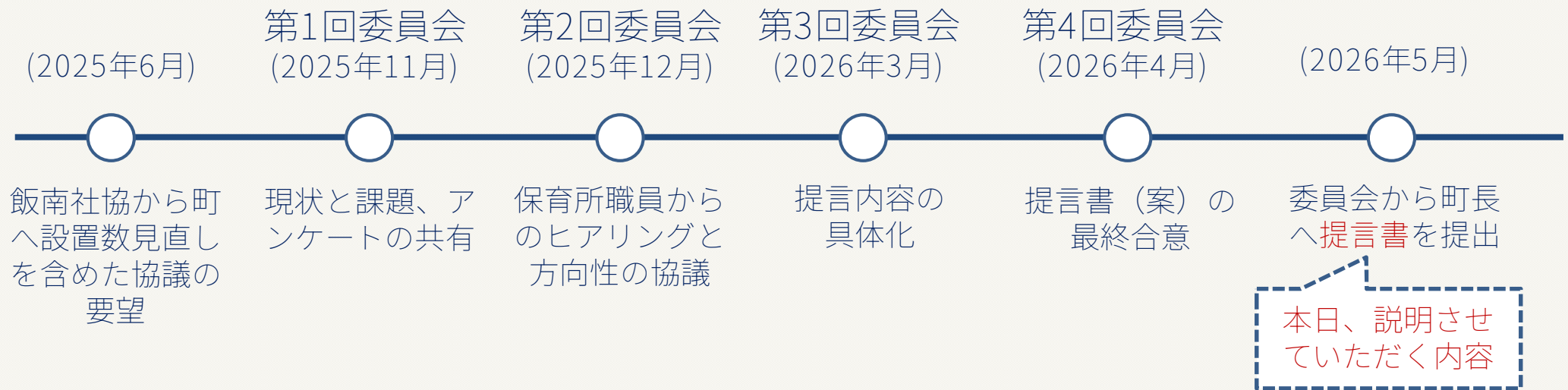
町は保育所あり方検討委員会（以下「委員会」という）から保育所の設置数の見直しを含めた「保育所のあり方に関する提言書」を受け取りました。今後、町は提言を参考に、方針を策定します。方針を策定する前に、提言について説明し、保護者や地域住民の皆様から「保育所のあり方」について、意見をいただくことを目的に開催しています。

【本日の説明内容】

委員会から受け取った提言書に関し、保護者や地域の皆様にとっての「より分かりやすさ」を追求し、資料を再編しています。児童数等の実績は最新のものを取り入れたり、委員会で協議された基礎資料からも一部情報を引用しています。

委員会の経緯とメンバー構成

【経緯】



【委員会メンバー構成（委員15名＋アドバイザー1名）】

小中学校PTA代表、小学校校長会会長	各保育所保護者会会長、各地区代表
飯南町社会福祉協議会会長、各保育所所長	（アドバイザー）前島根県教育庁教育指導課 指導主事

地域、保護者、現場の多角的な視点から、飯南町にふさわしい保育環境を協議

次ページより 提言書の説明

飯南町の保育所が大切にしていること

保育理念：「恵まれた自然環境、温かい人間関係の中で、豊かな人間性のある子どもを育成する」

保育方針：心豊かにたくましく生きる子どもを育む

- ✳️ 生き生き遊び、やる気とやりぬく気力のある子ども
- ✳️ 人の話をよく聞き、自分の思いを伝えられる子ども
- ✳️ 思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども



子どもの育成

子ども一人ひとりの発達や個性を尊重し、「その子らしさ」が伸びる環境を整え、成長を支援します。



地域の保育所として安定した体制

保護者のニーズに応え、誰もが安全に過ごせる受け入れ体制を整えます。公立保育所として一時保育等の機能の一層の充実を図ります。



子ども・家庭に対する適切な対応

専門機関と連携し、特別な配慮が必要な児童の早期発見や、ご家庭の子育ての悩みや不安に寄り添う支援を行います。

成長にあわせた「飯南町ならではの」の保育

0～1歳児(安心の土台づくり)

2～3歳児(自我と交流の芽生え)

4～5歳児(自立と社会性の広がり)



養護

一人ひとりの生活リズムを整え、
保育者との絆で安心感を育む。

子どもの思いを受け止め、自己
肯定感と情緒の安定を図る。

健康・安全な習慣を自ら実践し、
集団の中で協調性を養う。



教育

声や歌に触れ、五感を使った遊
びで言葉や表現の芽を育てる。

基本的な生活習慣を身につけ、
友だちとの関わりや言葉のや
りとりを楽しむ。

決まりの大切さを知り、相手の
気持ちを考え、豊かな想像力を
自由に表現する。

飯南町の特徴を活かした体験活動



自然

四季の変化を肌で感じる自然体験活
動。



伝統

しば餅づくりや七夕まつりなど、地
域に受け継がれてきた行事。



食育

菜園活動、稲刈り、芋掘り、リンゴ
狩り、クッキング等の活動を通じた
食への関心づくり。



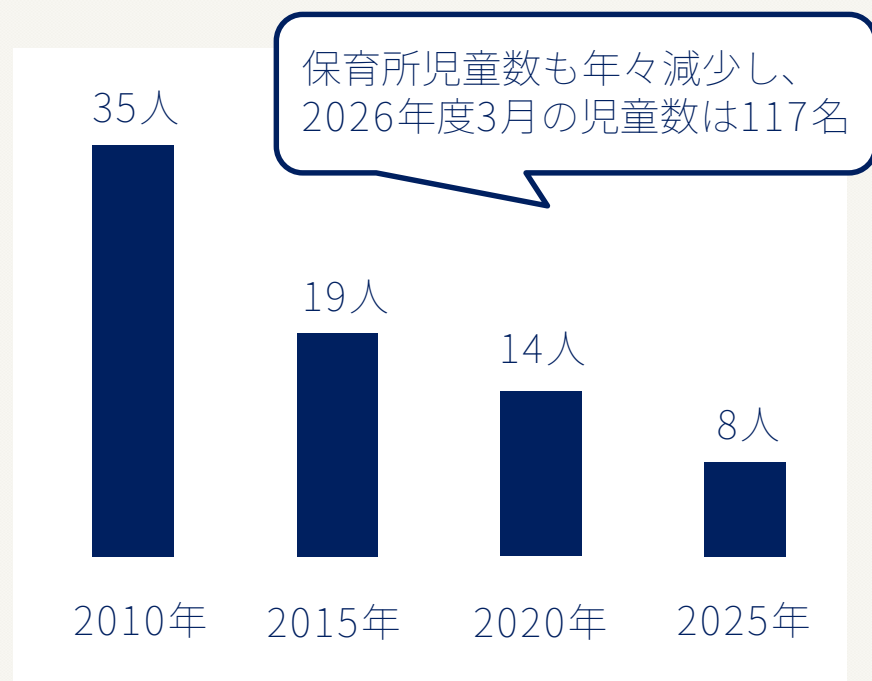
地域
交流

小中高校との交流や、地域イベント
への参加を通じ、人との繋がりと地
域への愛着醸成。

保育所は、すべての子どもが望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、適切な環境で心身ともに満たされることを支えるのが重要な役割です。

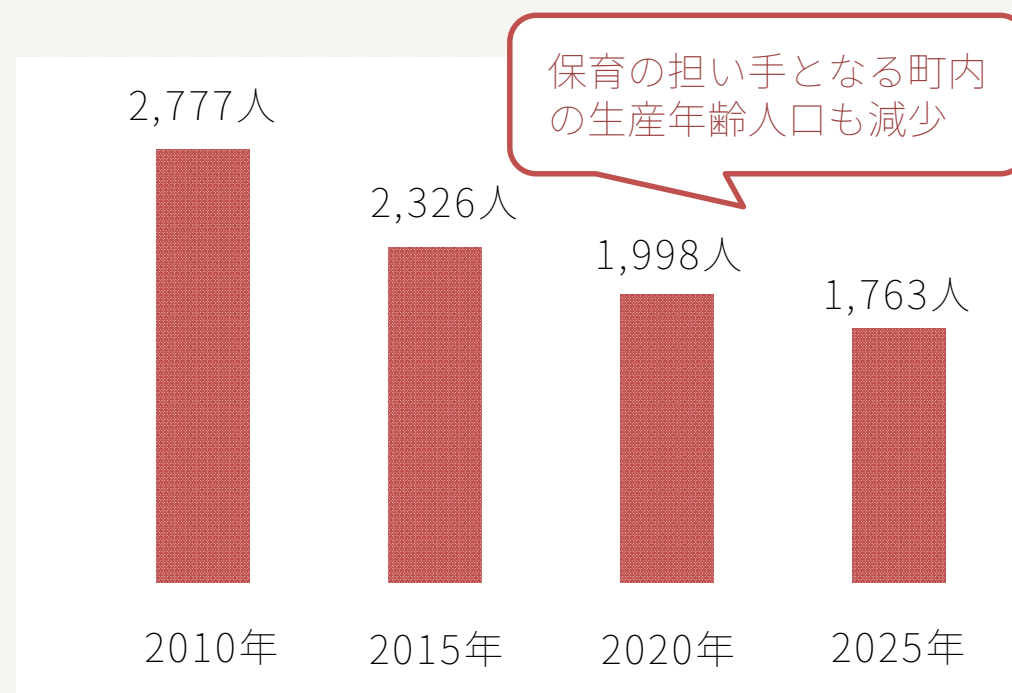
町内の縮小する人口：児童数と働き手、双方の減少

出生数の推移



生産年齢人口の推移

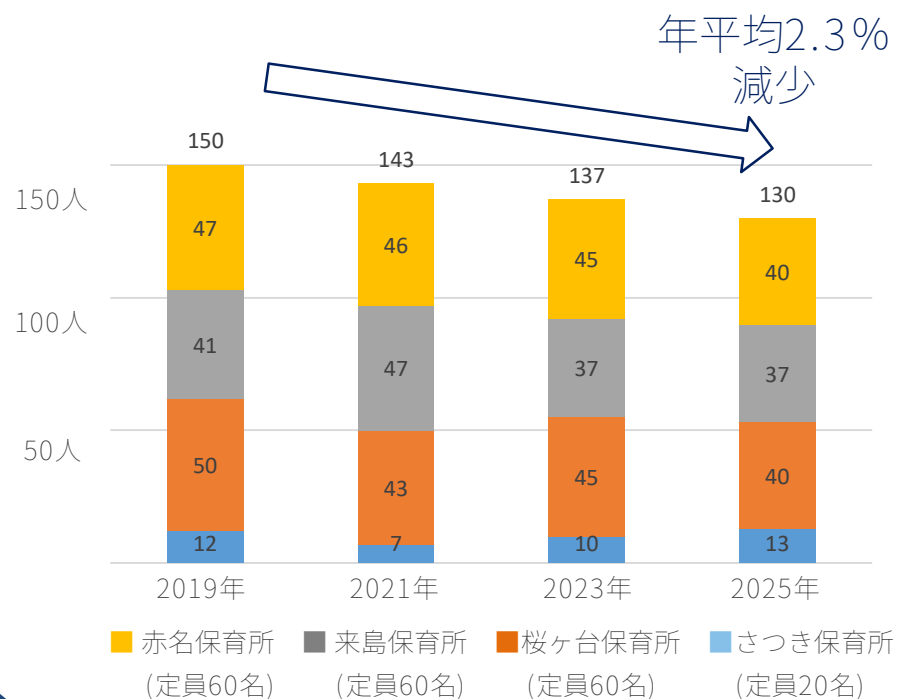
(15歳～64歳)



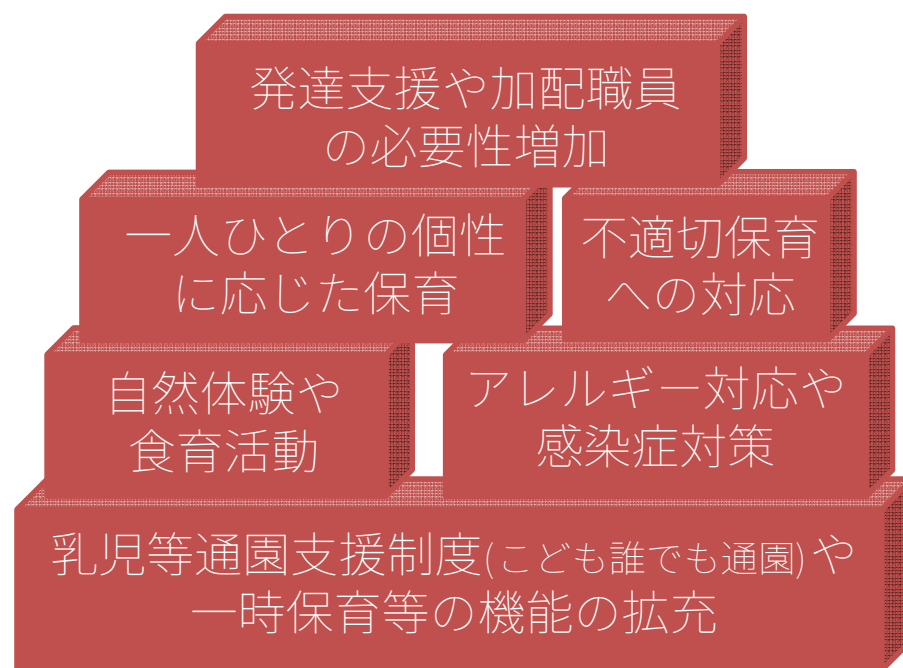
人口減少は「保育所児童数の減少」だけでなく、「保育士確保の困難」にも影響。

児童数の減少と多様化・高度化する保育

減少する児童数



多様化・高度化する保育



子どもの数は減っていても、保育所に求められる役割と必要な職員数は増加傾向にある。

保育の課題①：保育士不足に伴う影響

保育士不足

保育士確保対策助成金を実施するも近年は申請ゼロの年度が発生。県内養成学校の定員割れにより、外部からの確保は困難。

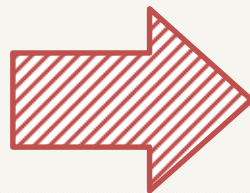
【正規保育士数】

19年：24名
21年：23名
23年：25名
25年：19名



現場の負担増

職員の急な休みへの対応が困難。シフトローテーションの余裕喪失。所長や主任が管理業務を離れ、クラス運営に入らざるを得ない。



安全・質への懸念

安全な保育、一人ひとりへの丁寧な成長支援の他、アレルギー・感染症対策等の業務量が増加する中、余裕がない状況。



入所お断りが発生

2024・2025年度は安全面の観点から年度途中の入所をお断りするケースが発生。（保育所入所：計4件、一時保育：計3件）

保育の課題②：老朽化と災害リスク

	赤名保育所	来島保育所	桜ヶ台保育所	さつき保育所
園児数 (令和8年度8月現在)	37人	32人	33人	10人
築年数 (令和8年現在)	昭和55年建築 (経過46年)	昭和62年建築 (経過39年)	平成8年建築 (経過30年)	昭和58年建築 (経過43年)
耐震基準	旧耐震基準	新耐震基準	新耐震基準	新耐震基準
災害リスク	浸水危険箇所	特記なし	特記なし	土砂災害警戒区域

赤名保育所においては、大雨による影響で避難又は避難に備えたことが何度か発生している。
(所庭が浸水し避難した：2021年・2022年に1件ずつ ／ 浸水に備え避難を準備した：2023年に1件)

保護者と現場の声（2025年アンケートより）

保護者の声（74名）

- 保育に求めること：
 - 1位 「安全な保育の実施」 59票
 - 2位 「集団の関わりを大切にした保育」 55票
 - 3位 「子どもの個性を大切にした保育」 41票
- 適切だと思う同年齢の人数：
 - 少なくとも「5人以上」を求める声が多数

4人以下	5～8人	9～12人	13～16人	17～20人	21人以上	わからない
0	16	21	14	7	3	13
0.0%	21.6%	28.4%	18.9%	9.5%	4.1%	17.6%

（参考）2026年8月時点の児童数

約半数が
4人以下

年齢	赤名	来島	桜ヶ台	さつき
0歳児	1人	2人	2人	1人
1歳児	4人	4人	2人	1人
2歳児	7人	4人	5人	2人
3歳児	9人	9人	7人	2人
4歳児	7人	7人	7人	3人
5歳児	9人	6人	10人	1人

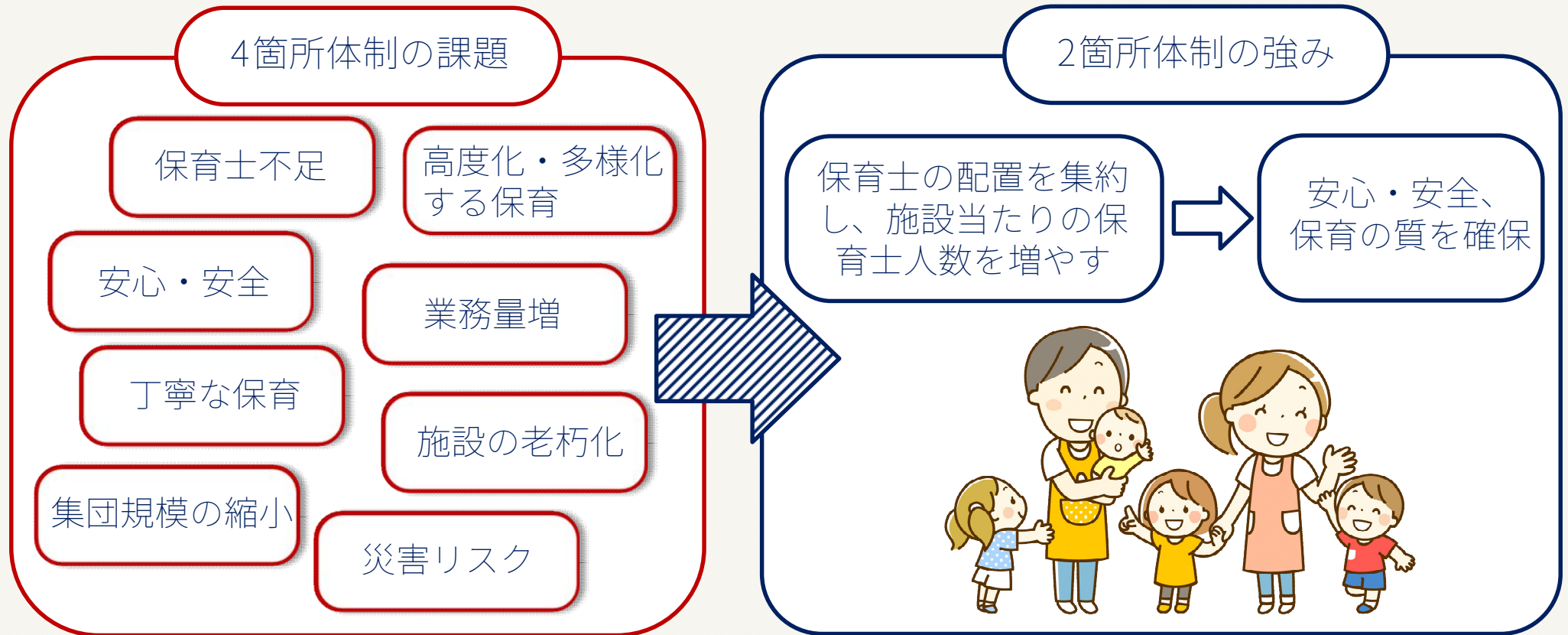
保育所職員の声（43名）

- やりがい：
 - 1位 「子どもの笑顔や成長」（43票）
- 仕事の量：
 - 「とても負担が多い」 14票（32.6%）
 - 「やや負担が多い」 19票（44.2%）
 - 「適切な仕事量」 9票（20.9%）
 - 「やや余裕がある」 1票（2.3%）
 - 「とても余裕がある」 0票（0.0%）

76%の職員が業務量が「多い」と感じている。人手不足が児童一人ひとりへの丁寧な保育や安心・安全な保育へ影響する事に委員会では多くの意見が出ました。

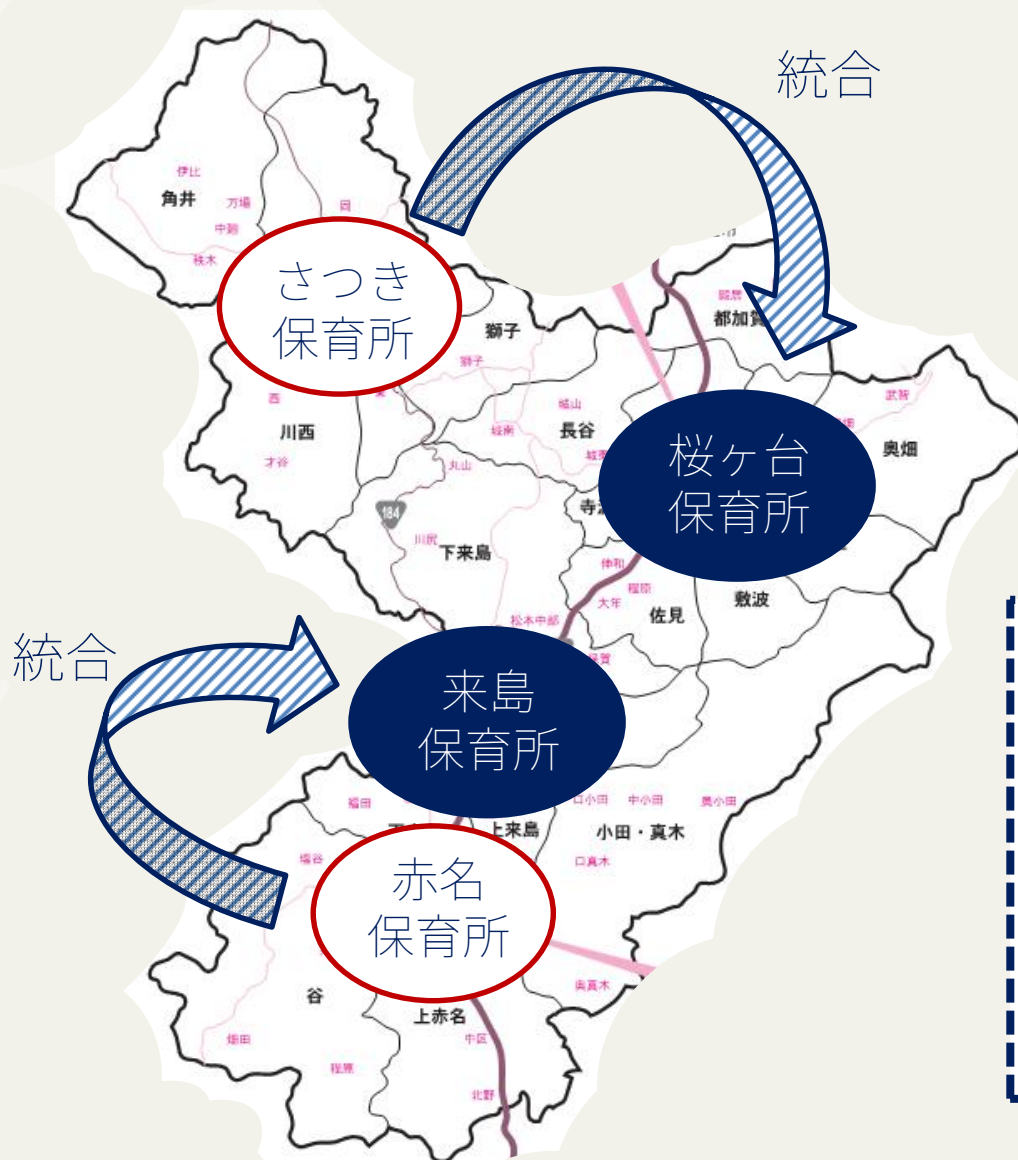
双方の思いは一致。「安全な環境で、適切な人数の友だちと育ち、職員が心身共に余裕をもって児童に向き合える保育」。

なぜ、設置数を見直す必要があるのか



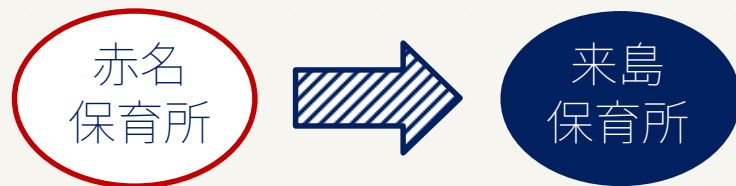
- ・これまでの資料（保育士不足、児童数減、老朽化等）が示す通り、4カ所への分散は、「安心・安全な保育」と「保育の質」へ影響する懸念がある。
- ・「安心・安全の確保と、保育の質を残すため」に選択が必要である。
- ・限られた保育士の中で、持続可能かつ安全な体制を構築するために、保育所の設置数を「4箇所から2箇所へ」見直す。

提言：「保育所を2箇所」へ見直す（2027年4月）



保育所を現在の4箇所から2箇所へ見直し、保育士を集約し、飯南町全体で最適な保育所運営体制を構築する。

なぜ、この組み合わせなのか？

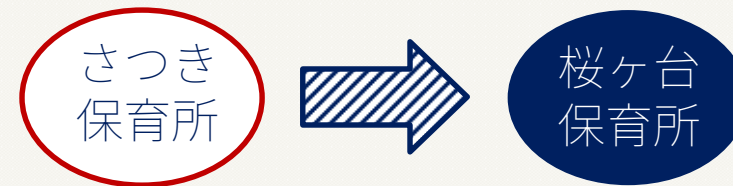


【安全面・快適性の優位】

赤名保育所は旧耐震・浸水危険箇所であり、施設が手狭であること

【地理的事由】

両保育所の距離は比較的近く、保護者の送迎負担を最小限に抑える



【安全面の優位】

さつき保育所が土砂災害警戒区域にあること

【就学を見据えた連携】

2027年度の志々小学校と頓原小学校の統合計画に連動し、小学校就学の連携をスムーズに

統合した場合の子ども達への影響

✓ 同年代の友だちが増える

アンケートでも多くの保護者が一定の集団規模での保育が適切だと考えている。多くの友だちとの関わりの中で、社会性や多様な遊びを経験できる環境が整う。

✓ 災害リスクの軽減

災害と建築基準の観点のリスクを軽減し、より安心な環境で過ごすことが出来る。

✓ 安全な保育が提供しやすくなる

職員規模が増えることで、急な職員の欠勤等にも柔軟に対応できる体制となる。日常的に余裕を持った安全な見守りがより提供しやすくなる。

✓ 一人ひとりの成長と発達に向けたより丁寧な保育

必要なクラスに加配の職員が配置しやすくなる。管理職が若手職員の指導や巡回に専念できる環境を作ること、保育の質を高める環境が整う。

統合した場合の保育現場への影響



ぎりぎりのシフト

早番・遅番・土曜含めた
ローテーションを組むの
に余裕がない

急な休みに対応困難

欠員に対しての補充が出
来ない

育成機会の損失

所長・主任が現場に入
り、若手の育成が充分
に出来ない



柔軟なローテーション
や急な欠員への対応力



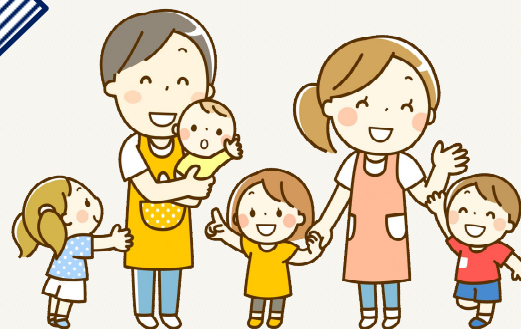
主任保育士のフリー
化による現場支援



所長が人材育成や安
全管理に専念



職員規模が増え、互
いの経験や専門性を
より共有しやすい



保育士の精神的、身体的なゆとりは「子どもへの丁寧な保育や安全な保育」に還元される。

統合する場合の進め方と環境整備

準備・交流

- ・子どもたちが環境の変化に慣れるための、保育所間の事前交流（合同遊び等）の実施。
- ・通所距離や生活リズムの変化に関する保護者への説明。

施設改修

児童・職員の増加に伴う、ロッカー、収容スペースの増設・改修工事の実施。

※統合しても児童1人当たりに必要な面積は法令で定められた基準を満たす

統合スタート (2027年4月)

新しい体制での保育の開始。

飯南町の保育所の将来に繋げる基盤強化

将来への基盤

給与水準の 見直し

アンケートで最大の不満だった「業務と給与の不一致」。他職種や近隣市町村と比較し、納得して働き続けられる給与水準を確保。

現代に合った 職場環境整備

男性職員の増加や労働環境整備の観点から、男女別トイレや更衣室、シャワールーム等の設備投資。

地域の特色の 継続

保育所が統合されても、それぞれの地域との繋がりがりや特色を活かした体験活動を絶やさない工夫。

保育の質の維持と向上を図るためには、設置数の見直しの他にも、安心して働ける環境を作り、職員の確保と定着に取り組むことが必要です。